

2013 年 4 月 22 日

株式会社東陽テクニカ

## Perforce Software 社が提案する コードベースの維持管理に向けた 5 つの提言

エンタープライズバージョン管理責任者が明かす  
調和のとれた開発チームを維持するためのベストプラクティス

アメリカ合衆国 カリフォルニア州 アラメダ発 (2013 年 4 月 17 日) — Perforce ソフトウェアは、開発環境の改善を検討しているすべての開発チームに向けて、5 つの提言を発表しました。この提言は、コードベースを整然と維持管理しつつ、開発プロセスを改善するためのガイドラインとしてまとめられています。

Perforce でシニアプロダクトマネージャを務める Randy DeFauw 氏は、次のように語っています。

「春は、様々なソフトウェアプロジェクトが本格的に稼働する時期でもあります。しかし、春の日の長さに比例して、製品の供給サイクルが長くなることはありません。コードベースを整然と維持管理しておくことは、この時期に様々なプロジェクトを立ち上げるソフトウェア企業にとって、安心材料の 1 つとなるでしょう。」

### コードベースの維持管理に向けた 5 つの提言

- プロジェクトに関するすべての要素を、1 つのツールで追跡する。**

様々な研究の結果から、チームメンバー同士のコミュニケーションの欠如がプロジェクトの進行を妨げることが分かっています（チームメンバーが地理的に離れた場所で作業を行う場合、その影響はより深刻になります）。この問題を解決するためには、プロジェクトに関わるすべての利害関係者に対して、どこを探せばプロジェクトの資産および情報を見つけることができるかを、周知しておく必要があります。
- 電子メールは、情報が保存されている場所を記録するために使用する。**

データベースをアップグレードするときに参照する最新のドキュメントと配備手順書を、安全な場所に保存する（注：電子メールにファイルを添付しても、“安全な場所に保存”したことにはなりません）。また、直接会話を交わし、情報を共有することも重要です。共有した情報は、コードと関連付けて分かりやすい場所に保存しておくといでしょう（Outlook の受信フォルダの中から必要な情報を探し出すために、長い時間を費やす必要がなくなります）。
- 将来の増強計画を作成する。**

規模の増大に追従できなければ、近い将来破綻してしまいます。ある Web アプリケーションを Azure に配備するために、昨年の秋に内製の配備システムを作成しましたが、期待するレベルには達しませんでした。5 つの階層を備えたそのシステムは、現在、数千人のコンカレントユーザしかサポートできていません。
- 仮想化によってリリースエンジニアリングを簡素化する。**

全てのコミットについて、リリース前チェックを実施したいと思っことはありますか？  
あるいは、依存に関する問題を減らすために、5 つのビルドチャンネルを一つのパイプラインに統合したいと考えたことはありますか？  
最新の CI ツールは、仮想化されたビルドファームの長所を活かし、これらの要望を実現します。
- コードブランチと同じように配備ブランチを管理する。**

戦略に基づいてマージを実施する必要があります。ソフトウェアブランチから変更をランダムに選択して、マージを実施するべきではありません。配備環境はそれぞれのシステムで異なるため、配

備データのブランチャ戦略は、その多様性、安全性、将来実施されるマージについて考慮したうえで立案しなければなりません。

Perforce 社は 10 年以上にわたり、世界最高水準の技術レベルが要求される何千もの開発環境において、コードベースを維持管理するためのソリューションを提供してきました。Perforce 社の製品は、ソースコードの管理のみならず、様々なデジタルアセット（ドキュメント、マルチメディア、スプレッドシート、画像など）を開発チーム内で共有するための手段を提供します。

### Perforce ソフトウェアについて

Perforce ソフトウェアは、その高い技術力が評価され、セールスフォース・ドットコム、ナショナルインスツルメンツ、ニューヨーク証券取引所など、業界を牽引するトップ企業から厚い信頼を集めています。Perforce ソフトウェアの製品は、様々なデジタルアセット（ソフトウェアコード、ドキュメント、マルチメディア、スプレッドシート、画像など）を、チーム内で効率的かつ安全に共有する手段を提供するほか、独自の技術によって大規模なコンテンツや分散して格納されている一連のコンテンツを管理し、生産性および安全性の向上、コストの削減、各種標準規格への準拠を実現します。さらに、ドキュメントコラボレーションツール"Commons"が追加されたことで、強力なバージョン管理機能を簡単にご利用頂けるようになりました。

Perforce ソフトウェアは、アメリカ合衆国 カリフォルニア州 アラメダに本社を、また、英国、カナダおよびオーストラリアに事業所を持ち、世界中でビジネスを展開しています。より詳しい情報については、[www.perforce.com](http://www.perforce.com) をご覧ください。

###

### お問い合わせ先

Perforce ソフトウェア広報担当  
Joshua Heath, +1-801-461-9794  
[joshua@methodcommunications.com](mailto:joshua@methodcommunications.com)

株式会社東陽テクニカ ソフトウェア・ソリューション  
Tel : 03-3245-1248 E-mail : [ss\\_sales@toyo.co.jp](mailto:ss_sales@toyo.co.jp)